

「日本におけるケミカルバイオロジー研究新展開」に関する研究開発専門委員会  
第3回運営事務打ち合せ（幹事会） 議事抄録

日 時 平成24年10月24日 13時30分～14時30分  
場 所 東京国際フォーラム ガラス棟506室  
出席者 浅見忠男、味戸慶一、穴澤秀治、上村大輔、遠藤正志、長田裕之、斎藤臣雄、  
菅裕明、春山英幸、矢守隆夫、吉村巧（50音順、敬称略）  
欠席者 （50音順、敬称略）

(1) 第2回幹事会、委員会議事録確認

講演内容の確認、修正依頼、開催場所の確認 等  
次回開催時期 ～ 来年1月あるいは2月

(2) 講演者の推薦 ～ 穴澤副委員長

NITE： 微生物カルチャーコレクション、ゲノム解析データ（知的基盤）  
経産省知的基盤課： 微生物遺伝子、化合物の安全性、知的基盤報告書の説明

「微生物の遺伝子資源の活用」をテーマとして、第5回に講演  
他に放線菌は北里大・池田先生、深海微生物はJAMSTEC 堀越先生グループから  
植物はニムラジェネティクス、など

(3) 第2回委員会での講演の資料

講演資料のハンドアウトを準備 ～ 公開可能なもの  
前回講演についての感想、情報追加等

穴澤委員： 薬剤リポジショニング～慶応大・水島先生の講演終了  
バイオジャパンの開催報告～中国招待講演者はキャンセル  
永野委員： 農業用商品と家庭用商品の開発コンセプトの違いが興味深い  
マラリア撲滅のためピレスロイドを練りこんだ蚊帳を無償提供  
～ 評価が高い、日本化学会で技術賞  
上杉委員： アジアケミカルバイオロジーイニシアチブ  
～ 11月に中国でミーティングを予定  
上仲委員： チューブリン阻害剤スルホン酸アミドの成功例

(4) その他

ホームページの立ち上げを予定 ～ 講演資料を公開、理研サーバー上  
一般向けの啓蒙活動として、問題のないもの～会社等の都合考慮が必要  
委員会委員には詳細な資料を開示可能  
有用な化合物を開発した研究者に講演依頼 ～ ニューヨーク州立大本田先生  
本委員会を協賛に、他の学会等で招聘  
2013年度日本化学会大会のシンポジウム「ケミカルバイオロジーの新展開」  
「化学と工業」に寄稿協力を ～ 上村編集長より

ケミカルバイオロジー周辺の話題

ライブラリー、探索プラットフォーム ～ 多額の資金が必要、システム化

システムズバイオロジー ～ 定義が曖昧、日米で意味が異なる

コンピューターでのシミュレーション？

構造生物学の必要性、タンパク 3000 で普及、停滞気味

米国の NIH の NCGC が改組 ～ 創薬へ特化

クスリと生理活性物質の違い

有機化学と創薬化学の原点・本質は同一 ⇒ 創薬化学はダイバシティー

以上